

(様式第9号)

情報公開用文書

「超高齢者慢性硬膜下手術症例における注意・遂行機能の低下に関する検討」への
ご協力をお願い

1, 研究（調査）の目的と概略

慢性硬膜下血腫は比較的侵襲の少ない手術ですが人口の高齢化に伴い年々増加傾向にあります。この手術の高齢者や超高齢者の高次脳機能に対する影響は今まで知られておらず、今回は特に知能指数や注意・遂行機能に着目し、高齢者における術後の日常生活上の留意点を明らかにすることを目的としています。

2, 研究（調査）の方法

慢性硬膜下血腫の診断の元、当院で手術（穿頭洗浄術）を施行された患者様に関して、年齢、性別、血腫量、入院期間、発症前・退院時・最終経過観察時の **modified Rankin Scale**、入院中の長谷川式簡易認知症スケール、コース立方体組み合わせテストによる知能指数、**Trail Making Test-A** 値に関する情報を収集します。氏名や住所は収集いたしません。すべて診療録から後方視的に抽出し統計解析を行なう観察研究であり、個人情報特定されることはありません。

3, 研究（調査）の参加施設

当院のみの観察研究です。

4, 調査期間

調査期間 2019年1月1日から2021年12月31日まで

5, 調査の対象となる患者様

本研究の対象となるのは、上記調査期間の間に、慢性硬膜下血腫の診断の元、手術（穿頭洗浄術）を施行された患者様です。

6, この研究への協力は任意です

本研究は、患者様の診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれるもので、患者様に新たな診療や検査を強いるものではありません。調査結果は、個人が特定できないように匿名化して管理し、個人情報を保護します。

データのご使用をお断りになる場合は、直ちに情報の利用を停止いたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。何も診療に不利益は生じません。

7, お問い合わせ先

事務局 日本脳神経外科学会第 81 回学術集会 (岩手医科大学脳神経外科)

研究責任者 新野清人

当院研究責任者 新野清人

お問い合わせ先

徳島市蔵本町 1 丁目 10-3

徳島県立中央病院脳神経外科

新野清人

TEL 088-631-7151 (内線 5075)